

SK SATO

防水型デジタル温度計

(専用プリンタ出力付)

MODEL SK-1260

取扱説明書

SATO KEIRYOKI MFG.CO.,LTD.

— はじめに —

このたびは防水型デジタル温度計 SK-1260 をお買い上げいただきありがとうございます。

- この商品は、温度を計るものです。それ以外のご使用はしないでください。
- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、大切に保存してください。

概要

本器はセンサとしてサーミスタプローブ(専用)または熱電対(K)プローブ(専用)を接続できる防水型デジタル温度計です。測定した温度は本体に記録することが可能であり、さらに専用プリンタ(オプション)を接続することによって測定結果を印字することができます。

特長

- 防水機能
本体・プローブ部接続状態で JIS C 0920「電気器具の防水試験及び固定物の侵入に対する保護等級」における防水保護等級 IPX4 に準拠した防水構造になっております。ぬれた手で本体を触ったり、水滴がかかっても支障はありません。
- プリンタ出力付き
設定により、測定温度を手動及び自動記録ができます。専用のプリンタに出力することができ、本体に記録した測定データを印字出力することができます。
- 通常記録(マニュアル記録)・自動記録(オート記録)
本体の設定によりマニュアル記録とオート記録の設定ができます。詳しくは本説明書「記録モードの説明」をお読みください。
- 最高・最低温度のアラーム設定
最高・最低温度のアラーム設定ができます。(本体内蔵の電子ブザーでお知らせします。)
- 本体・センサプローブ完全互換
サーミスタセンサプローブ及び熱電対(K)プローブ共に互換性があります。

警告

SK-1260は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気でのご使用は絶対にしないでください。



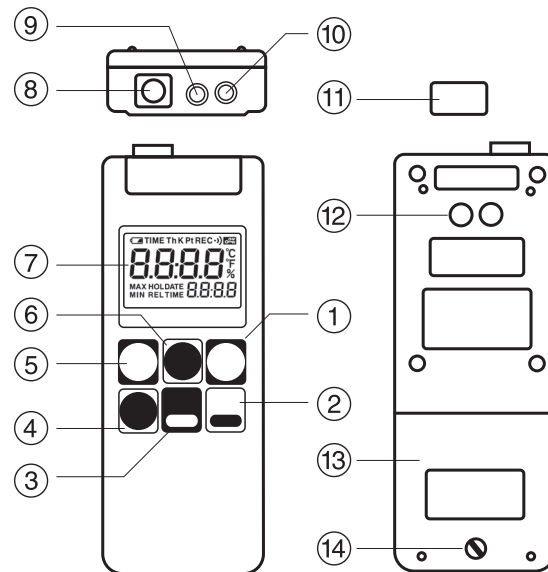
爆発注意
爆発する恐れがあり
たいへん危険です。

- ご不明な点がございましたらお買い上げ店または弊社サービスネットワークにご相談ください。

目次

各部の名称と働き	1	時計設定	15
ご使用方法	4	記録インターバル設定	16
保管の方法	5	管理ナンバー設定	16
乾電池の入れ方	6	マニュアル記録	17
センサプローブの接続	7	オート記録	18
プリンタ端子、ACアダプタ ジャックの接続	8	記録データのプリンタ印字方法	
操作の流れ	8	本器とプリンタ接続	21
一般的な温度測定の方法		プリントアウトの方法	21
温度測定の方法	11	マニュアルおよび	
HOLD/REL 機能	12	オート記録の印字例	22
MAX/MIN 機能	13	本器のエラー表示について	23
オートパワーオフ機能	14	オプションセンサのご紹介	24
データ記録温度測定の方法		その他のオプション	24
各種設定モードについて	15	仕様	26
		保証規定・保証書	28
		サービスネットワーク	29

各部の名称とはたらき



① POWER キー

- ・本キーを押して、本器の電源を ON にするとピーというブザー音が鳴り電源が入ります。電源が ON の状態でもう一度このキーを押すと OFF になります。
- ・本器の電源が ON の状態で以下の操作を行うと、各種設定ができます。
- ・HOLD/REL キーと同時に押すことで「記録インターバル」が設定できます。(P.16 参照)
- ・TIME キーと同時に押す事で「時計設定モード」になります。(P.15 参照)

- ・MAX/MIN キーと同時に押す事で「管理ナンバー設定モード」になります。(P.16 参照)
- ・SET/CLEAR キーを同時に押し、次に SET/CLEAR キーのみをもう一度押すと、記録ファイルがクリアされます。

② HOLD/REL キー

- ・通常測定モード時に本キーを押すと温度指示値を一時的にホールド(固定)させることができます。
- ・ホールドモード時にもう一度本キーを押すと REL (変化量)測定モードに変わります。

・REL (変化量) 測定モード時に本キーを押すと通常測定モードに戻ります。

③ MAX/MIN キー

・通常測定モード時に本キーを押すと、最高・最低記録の値が表示されます。(P.13 参照)

・SET/CLEAR キーとMAX/MIN キーを同時に押すことで最高・最低温度のアラーム設定ができます。(P.13 参照)

④ SET/CLEAR キー

・主に各種設定操作の決定をするときに使用します。

⑤ TIME キー

・通常測定モードの時、本キーを押すと時間が表示されます。
・本器の電源が ON の状態のとき POWER キーと同時に押すことで「時計」設定モードになります。(P.15 参照)

⑥ REC/PRINT キー

・通常測定モード時に本キーを押すと、マニュアル記録モードになります。(P.17 参照)
・通常測定モード時に本キーとMAX/MIN キーを同時に押すことでオート記録モードになります。(P.18 参照)
・本器が電源 ON のときに POWER キーと同時に押すことで記録されたデータを専用のプリンタに印字出力することができます。(P.21 参照)

⑦ 液晶表示部

・測定温度値、各種設定情報およびキャラクタを表示します。

⑧ センサコネクタ

・専用のサーミスタセンサプローブまたは専用の熱電対 (K) センサプローブを接続します。

⑨ プリンタコネクタ

・専用のプリンタ接続ケーブルを接続します。

⑩ AC アダプタジャック

・専用の AC アダプタプラグを接続します。

⑪ ジャック防水カバー

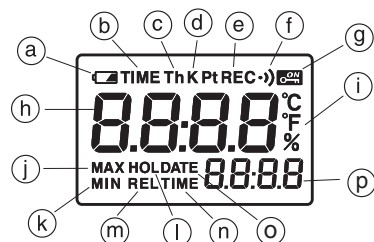
・防水性「保護等級 IPX4」を必要とする環境で温度測定を行う場合、プリンタコネクタ部及び AC アダプタジャック部に装着してください。

⑫ ジャック防水カバーホルルド部

・専用のプリンタケーブルを接続するときまたは AC アダプタをご使用するときにはジャック防水カバーを外して、ホルルド部にカバーを取り付けてください。

⑬ 電池蓋

⑭ 電池蓋固定ねじ



① 電池容量が少なくなると点灯します。

② 時計設定時に点灯します。

③ サーミスタセンサプローブを接続した時点灯します。

④ 熱電対 (K) センサプローブを接続した時点灯します。

⑤ データの記録中点灯します。

⑥ 最高・最低温度設定時点灯します。

⑦ オートパワーオフを解除しているときに点灯します。

⑧ メイン数値表示部で温度測定値などを表示します。

⑨ 測定単位キャラクタ

⑩ 最高測定値の表示中および最高温度設定する際に点灯します。

⑪ 最低測定値の表示中および最低温度設定する際に点灯します。

⑫ HOLD：測定値のホールド中に点灯します。

⑬ HOLD での変化量を表示中に点灯します。

⑭ 記録されたデータの時間を確認するときに点灯します。

⑮ DATE 一日付設定時に点灯します。

⑯ サブ7セグメント LCD

ご使用方法

使用上の注意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことを必ず守ってください。

- 体温計としては使用できません。
- 本器は精密にできていますので落下させるなど強い衝撃を与えないでください。
- 分解、改造しますと故障の原因となりますので絶対にしないでください。
- 水中でのご使用はしないでください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の近くでのご使用はしないでください。ケースの変形や故障の原因となります。
- 電氣的ノイズが発生する環境でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。
- センサコードを無理に引っ張ったり、曲げたり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱や傷つけ加工などをしますとコードが損傷することがあります。
- 長期間使用しない場合は、必ず乾電池を本体から取り外してください。入れたままにしておきますと乾電池から液漏れが発生する場合があります。
- 本器をアルコール、シンナー、その他溶剤で洗ったり、ふいたりしないでください。また、水洗いもしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどを使い、よくしぼってからふいでください。
- 本センサは防水型デジタル温度計「SK-1260」の専用センサです。他の温度計やパソコン等への接続は絶対に行わないでください。
- 本体を固定しているネジ(6カ所)はゆるめたり、増し締めをしないでください。防水性が損なわれることとなります。

- 温度の測定範囲をお守りください。測定範囲外でのご使用は故障・破損の原因となります。高い温度を測定する場合には、やけどにご注意ください。また高い温度の測定終了後はセンサのステンレスパイプ部分が熱くなっていますので、十分に温度が下がってから保管するようにしてください。先トガリ型センサの先端部は測定物に突きさしやすいようになっています。先端部で思わぬけがをする恐れがありますので、取扱いには充分ご注意ください。

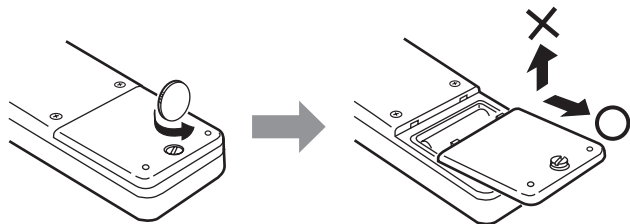
◎ 修理、校正はお買い上げ店、または弊社サービスネットワークへお申し付けください。

保管の方法

- ・ 自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障する場合があります。そのような場所には放置しないでください。

乾電池の入れ方

- 1) 本体裏面の電池蓋下のネジ頭部をマイナスドライバーまたはコイン等で反時計方向に回してゆるめはずします。



電池蓋の両サイドを手で持って下方方向に引き出して下さい。

注意：乾電池を交換する場合は4本とも同じ種類のもので、すべて新しいものをご使用ください。

- 2) 乾電池収納部の表示にしたがって、乾電池の向き \oplus \ominus を間違えないように単4形乾電池を4本セットしてください。
- 3) 電池蓋を開けたときと逆の手順で電池蓋を閉め、ネジで固定してください。

注意：電池蓋を開けたとき、黒い防水ゴムがはずれることがあります。その場合は、本体側の溝に防水ゴムを入れてください。電池蓋はしっかり取付けてください。取付けが不十分ですと防水性が損なわれ、水などが浸入して故障の原因となります。

注意：黒い防水ゴム部に水滴が付着した場合は必ず水滴を除去してから蓋をしてください。

- 4) 電池消費警告機能 (ローバッテリーマーク)

電池容量が残り少なくなると点灯します。

- ①正常状態：電池交換警告マーク表示なし
- ②残量低減予告：電池マーク静止点灯 (電池消耗予告)
- ③電池交換警告：電池マーク低速点滅 (電池寿命限界状態)
- ④即時交換警告：電池マーク高速点滅 (測定不可状態)

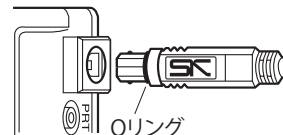
(このときブザーが1分おきに1秒間鳴ります。)

- 5) 電池交換時は必ず POWER キーをOFF にしてから、取り替えてください。

注意：POWER キーをOFF にしないで電池を交換しますと、すべての記録データや設定がクリアされます。

センサプローブの接続

センサプローブのプラグを本体コネクタソケットの穴に差し込み、クリック感触があるまで、しっかり奥まで挿入してください。

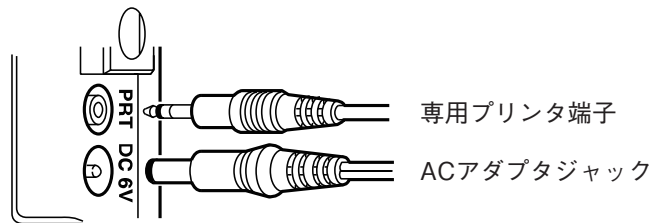


注意：左図のようにSKマークを本体のディスプレイ及び操作面側に合わせ、最後までしっかりと差し込んでください。取付けが不十分ですと防水性を損ない、故障の原因となります。

⚠ 注意

- ※このセンサプローブはUSB対応製品ではありません。センサプラグをパソコン周辺機器に絶対に差し込まないでください。
- ※必ず電源OFF状態でセンサプローブの抜き差しを行ってください。電源ON状態でセンサプローブを抜き差ししますと、故障の原因となります。

プリンタ端子、ACアダプタジャックの接続



注意：使用しないときは、必ず防水カバーを取付けてください。

操作の流れ

- 本器を有効にご使用いただくために使用方法を3つに大別し操作の流れを説明します。

(1) 一般的な温度測定

電池収納部に電池を入れます
(P.6 参照)

センサを本体に接続します
(P.7 参照)

POWER キーを押し電源をいれます
(P.11 参照)

温度測定が可能です
(P.11 参照)

HOLD/REL・MAX/MIN 機能
(P.12,13 参照)

- 単 4 形乾電池 4 本または AC アダプタ (オプション) を使用

- 熱電対 (K) センサの場合は約 10 分間程度、測定環境の温度になじませてください。

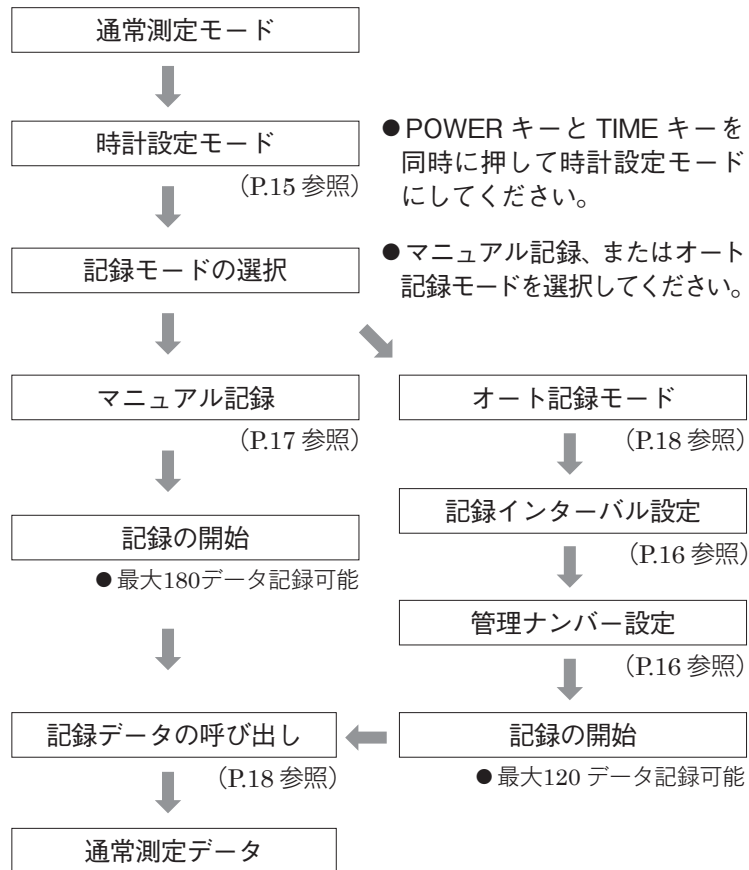
- 1 秒間以上押ししてください。通常測定モードで起動されます。

- 通常測定モードで、測定温度が表示されます。

- 必要に応じて測定温度範囲内で操作を行ってください。

(2) データ記録温度測定 (マニュアル記録モード・オート記録モード)

記録データは本器表示部にて再表示・確認することができます



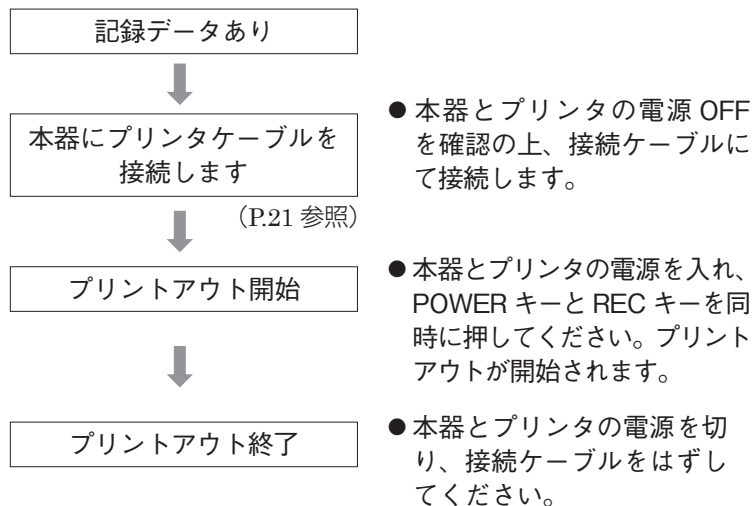
- POWER キーと TIME キーを同時に押し、時計設定モードにしてください。

- マニュアル記録、またはオート記録モードを選択してください。

※再度記録モードにするときは、記録されたデータを消去しなければなりません。POWER キーと SET/CLEAR キーを同時に押し、つぎに SET/CLEAR キーのみ押ししてください。記録データが消去されます。

(3) 記録データのプリンタ印字


記録データを専用プリンタ (オプション) に印字出力します。



※再度記録モードにするときは、記録されたデータを消去しなければなりません。POWER キーと SET/CLEAR キーを同時に押すと、“Fclr”が表示されます。その状態で次に SET/CLEAR キーのみ押してください。記録データが消去されます。

一般的な温度測定の方法

温度測定の方法

- 1) 本器とセンサプローブを接続してください。
- 2) POWER キーを 1 秒程度押しますと、ブザーとともに表示部に全表示テストパターン等約 5 秒間現れ、その後現在温度測定値が表示され、通常測定モードになります。
- 30 分間キー操作がないと、オートパワーオフ機能が作動し自動的に電源が切れます。
また、電源投入時に POWER キーを 3 秒以上続けて押すことにより、オートパワーオフ機能が解除された状態で ON になり通常測定モードとなります。その状態でオートパワーオフがはたらきませんので、消し忘れによる電池消耗にご注意ください。
※この状態のとき、液晶表示部の右上に  のアイコンが表示されます。

注意

- ※高い温度を測定する場合は、やけどにご注意ください。
- ※電源 ON の状態ではセンサプローブは抜かないでください。

- 3) 差し込みセンサで厳密な温度測定を行う場合は、気体・液体・半固体を問わずセンサ保護管の先端から保護管の直径のおよそ 15 倍の長さ、すなわち保護管径が $\phi 2\text{mm}$ の場合、約 30mm 以上測定対象物に挿入してください。これは外気 (保護管周辺) の温度影響を受けにくくするためです。
- 4) 再度 POWER キーを 1 秒以上押しますと、表示が消え本器の電源が切れます。

HOLD / REL 機能

- 測定中、温度変化が激しい場合など、HOLD キーを押すことにより、メインの数値表示部の表示が固定され測定値の読みとりが容易になります。このとき、サブの数値表示部には現在の温度測定値が表示されていますので、必要な温度データをホールドしながら、現在の温度変化がわかります。
- HOLD キーをもう一度押すと REL 機能となり、固定した値からの変化量がメインの数値表示部に表示されます。温度が -199.9°C 以下の場合には“OL”表示になります。この間、サブの数値表示部にはリアルタイム測定値が表示されます。測定値が変化するたびに、固定した値からの変化量をメインの数値表示部に表示されます。
- 再度 HOLD キーを押すと、通常測定モードに戻ります。

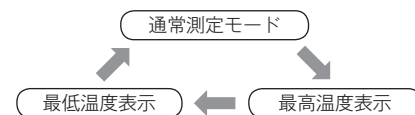
※HOLD および現在温度 (サブ7セグメント) 表示の解除

HOLD 表示のとき、SET / CLEAR キーと HOLD / REL キーを同時に押しますと HOLD 表示および現在温度 (サブ7セグメント) 表示が消えます。解除する場合は、HOLD / REL キーを押しますと解除されると共に REL 表示となり、もう一度 HOLD / REL キーを押すと通常測定モードになります。

MAX / MIN 機能

●最高温度・最低温度表示

- 1) 通常測定モード時に MAX / MIN キーを一回押し、つぎに SET / CLEAR キーを押すと最高・最低温度記録がスタートします。
- 2) つぎに MAX / MIN キーを押すことにより、最高・最低温度記録スタート設定時点からの最低温度記録値が表示されます。
- 3) 再度、MAX / MIN キーを押すことにより、1度、通常測定モードに戻ります。再度、MAX / MIN キーを押すことにより、最高・最低温度記録スタート設定時点からの最高温度記録値が表示されます。
- 4) 以降、右図のような順で測定ができます。
- 5) SET / CLEAR キーを押すことにより、本器に記録されている最高温度・最低温度値がクリアされます。本器は記録データがクリアされた時点からの最高温度・最低温度を記録スタートします。



※最高温度・最低温度表示中、サブ7セグメントには、現在温度が表示されます。

●最高温度・最低温度のアラーム設定

- 1) 通常測定モード時に SET / CLEAR キーと MAX / MIN キーを同時に押した時点でサブ7セグメント LCD に最高温度のアラーム設定ができ、もう一度 SET / CLEAR キーと MAX / MIN キーを同時に押しますと最低温度のアラーム設定ができます。アラーム温度の設定は UP キー、DOWN キーにて行ってください。
- 2) SET / CLEAR キーを押すことにより、**●**が表示され、アラーム設定モードになったことを表します。
- 3) アラーム設定の温度に到達しますと、**●**が点滅すると共にブザー音にてお知らせします。
- 4) アラーム設定モードを解除するには SET / CLEAR キーを押してください。**●**表示が消灯します。
- 5) 通常測定モードに戻すには TIME キーを押すと通常測定モードに戻ります。

オートパワーオフ機能

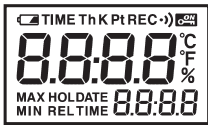


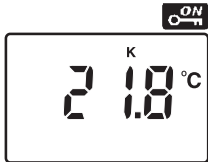
- 本器はキー操作を約30分間行わなかった場合、電源が自動的に切れます。
電源の切り忘れによる電池容量の消耗を防ぎます。
- オートパワーオフ機能が作動する場合は、右表のようになっております。

通常温度測定	○
HOLD 機能	×
MAX/MIN 機能	×
マニュアル記録	○
オート記録	×※

○印—作動する
×印—作動しない

※オート記録中は、インターバル設定によっては表示が消える場合があります。120 データ終了後はオートパワーオフが作動します。

《オートパワーオフの解除手段》

- 1) POWER キーを ON にします。
- 2) 右図のようなテストパターンが表示されます。

- 3) 右図のように管理ナンバーの表示が出ます。(約2秒間)
このときにSET/CLEARキーを押します。すると液晶表示の右上に  が表示され連続ONのモードになったことが分かります。

- 4) 温度表示になります
注：この連続使用状態でPOWER キーをOFF にしますと、またもとのオートパワーオフの状態に戻ります。


データ記録温度測定の方法

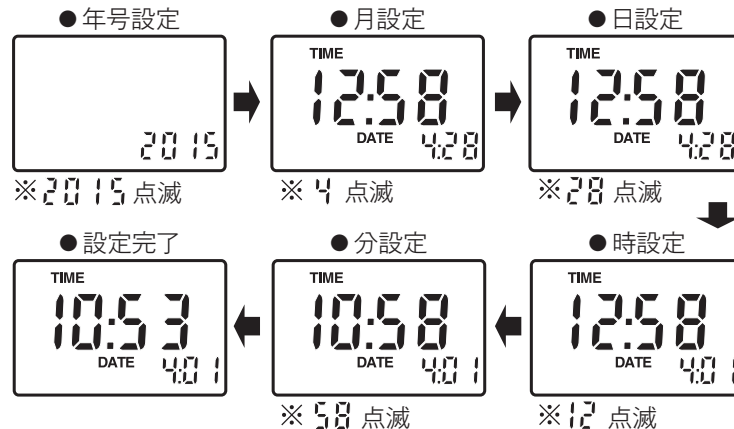
各種設定モードについて

設定モードに入ると変更可能な数値が点滅します。数字はUPキーまたはDOWNキーにて変更することができます。次の設定モードに進むか、終了するときはSET/CLEARキーを押してください。通常測定モードに戻ります。

時計設定

本器の電源がONのときにPOWERキーとTIMEキーを同時に押すことにより時計の設定が以下の手順でできます。項目ごとに設定後SET/CLEARキーを押して、次に進んでください。

例：2015年4月1日10時53分設定



時計設定はマニュアル記録モードおよびオート記録モードどちらの使用時においても必要です。

注意：時計設定をしないままマニュアル記録、オート記録を行った場合、初期設定の年、月、日、時計の値が記録データに記録されます。

記録インターバル設定

本器の電源が ON のときに POWER キーと HOLD/REL キーを同時に押すことにより以下の図のように記録インターバルの設定ができます。

※記録インターバル設定はオート記録モード使用時に必要です。

- 出荷時、記録インターバルは 1 分に設定されています。10 分に設定したい場合、UP キーを押して、右図のように設定します。SET/CLEAR キーを押すと通常測定モードに戻ります。また、この場合の現在時刻



が 13:06 ですと記録開始は毎正 10 分となっていますので 13 時 10 分から記録を開始します。(下表参照)

(h: 時間)

記録インターバル	1分	2分	3分	5分	10分	30分	1h	2h	3h	4h	6h	12h	24h
記録開始	毎正1分			毎正10分					毎正1時間				

管理ナンバー設定

本器の電源が ON のときに POWER キーと MAX/MIN キーを同時に押すことにより管理ナンバーの設定ができます。

- 例 00 ——— 佐藤担当 (誰が)
- 99 ——— 実験室の保温箱 (何を管理)
- 上記は、一つの例です。お客様のお考えでご利用ください。



※管理ナンバー設定はオート記録モード使用時に利用できます。ナンバーは 00 ~ 99 まで 2 カ所設定可能です。

⚠ 注意

※各種設定モードに入る場合、POWER キーとその他必要なキーを同時に押す必要があります。POWER キーのみを先に押した場合、本体の電源が切れてしまいますのでご注意ください。

マニュアル記録

本器の電源が ON のときに REC キーを押すと現在の測定値が記録されます。REC キーを押した瞬間、約 0.5 秒間 REC 表示とサブ 7 セグメントにファイルナンバーが表示されます。ファイルナンバーが 180 件を超えたときは、REC キーを押して、サブ 7 セグメントに FULL と表示されると共にピーというブザー音が鳴ります。以降の測定値は記録されません。

記録データ操作中、電源を OFF にしても記録ファイルは保持され、もう一度電源 ON で、記録ファイルは継続されます。

- 記録データの呼び出し

本器に記録データがある場合、TIME キーを 1 秒以上押すと、サブ 7 セグメントに記録されたファイルナンバー、メイン 7 セグメントに記録温度値を表示します。温度値及びファイルナンバーの表示は第 1 ファイルから記録順ごとに表示します。TIME キーを一度押し、再度押し続けるとファイルナンバー及び温度値が早送りできます。

SET/CLEAR キーを押すと通常温度測定モードに戻ります。

もう一度記録データを確認したい場合は、同じ操作を繰り返してください。

注意：本器に前回の記録データが残っていると新たに、電源を OFF にしても記録モード設定ができませんので、通常温度測定表示中に、POWER キーと SET/CLEAR キーを同時に押し、次に SET/CLEAR キーのみを押し記録データをクリアしてください。オート記録モードの場合も同じです。

オート記録

本器の電源がON のときにRECキーとMAX/MINキーを同時に押すと測定値の記録がスタートします。記録が開始されるとREC が表示され、サブ7セグメントにファイルナンバー“F??”とサンプリングデータカウント“d??”が交互に表示されます。ファイルナンバーが120件を超えたときに、REC キーを押すと、FULL と表示されると共にピーというブザー音が鳴ります。

以降の測定値は記録されません。

● 記録データの呼び出し

本器に記録データがある場合、TIME キーを1秒以上押すと、サブ7セグメントに測定された時刻、メイン7セグメントにその時刻の測定値及び、その時刻までのインターバルの最高温度値、最低温度値、の順で表示します。記録温度値及び測定時刻の表示は第1ファイルから記録順ごとに表示します。TIME キーを一度押し、再度押し続けると測定された時刻及びその時刻の測定値、最高温度値、最低温度値が早送りできます。

SET/CLEAR キーを押すと通常温度測定モードに戻ります。

もう一度記録データを確認したい場合は、同じ操作を繰り返してください。

注意：記録途中で終了し、記録データを確認したい場合は、REC キーを押すと、REC とファイルナンバー表示が消え記録を中止します。

その後上記の記録確認の操作を行ってください。

注意：オート記録モードからマニュアル記録モードへそのままでは移行できません。本器に残っている記録データを以下の操作でクリアしてください。通常温測定表示中に、POWERキーとSET/CLEARキーを同時に押し、次にSET/CLEARキーのみを押しますと記録データはクリアされます。この後マニュアル記録設定をすることができます。

※記録インターバル設定についてはP.16に記載されていますが、その設定した後の経過表示が、次ページの表のようになります。

● RECをスタートさせた時間に対してパワーオートオフの時間が経過した後、液晶表示がいったん消えます。

(但し連続表示は除外します) その後はインターバル設定により表示、オン・オフを繰り返して120データまでデータをとり続けます。インターバルの設定時間が長くなるほど表示が消えている時間も長くなっていますが、表示不良ではありません。

注意：オート記録の終了時には下記事項をご確認の上取り扱ってください。

1：終了時には必ず先に本体の電源をOFFにしてください。

電池または、ACアダプタ使用のどちらも同様の処置をしてください。

2：AC アダプタでON のまま終了させる場合には、必ず本体と接続されていますプラグを先に抜いてください。但し、この場合でも本体に電池がセットされていることが必要です。

3：ON のままでAC アダプタの100V電源を先に抜きますと、強制終了の形になりデータが消去されます。

記録 インターバル	1分 2分 3分	5分 10分	30分	1 時間	2h	3h	4h	6h 12h 24h
記録開始	毎正 1分	毎正10分	毎正1時間					
表示間隔時間	連続表示	30 秒毎	1 分毎	2 分毎	3 分毎	5 分毎	10 分毎	
表示時間	——		約7秒間					

(h : 時間)

- オート記録をご使用中に電池が少なくなったり、また何らかの事情で電源を切り替える場合、下記の内容に注意してください。

- (1) 電池からACアダプタに切替えるとき。
- (2) ACアダプタから電池に切替えるとき。
- (3) 電池を交換するとき。

上記(1)～(3)のいずれかにおいても電源を切替える場合は、必ず本体操作ボタンのPOWERキーをOFFの状態にしてから行ってください。

(約50秒以内)その後POWERキーをONにすればデータは消えないで継続して作動しています。

もし、POWERキーをOFFにしないで交換、切替え操作を行いますと、オート記録が停止などの誤作動、または誤表示することがありますので絶対にしないでください。

記録データのプリンタ印字方法

本器とプリンタの接続

- 1) 本器の電源とプリンタの電源が切れていることを確認しプリンタ接続ケーブルをプリンタと本器プリンタ接続端子に接続してください。(P.8参照)
- 2) プリンタ付属の説明書をよくお読みください。
プリンタは、専用プリンタ(オプション)となります。
- 3) お求めは、お買い上げ店または弊社サービスネットワークにおたずねください。

プリントアウトの方法

- 1) プリンタの電源がONになっている事を確認してください。
- 2) 本器の電源がONのときにPOWERキーとRECキーを同時に押すと、“Prn”が表示されプリンタが印字を開始します。
※また、同様にRECキーを3秒以上長押しすることで印字を開始します。
- 3) 印字データは第1ファイルから最終ファイルまで出力します。
- 4) プリント後も、本体にデータは残っています。

マニュアル、オート記録印字例

● マニュアル記録印字例

オトソケイター		プリント日時 2015年1月23日	
		センサー:K1, カリコト: No00-00(°C)	
Rec	月日	時分	オト
001	9/23	11:52	25.9
002	9/23	11:58	25.0
003	9/23	12:35	25.7
004	9/23	12:37	25.1
005	9/23	12:45	25.1
006	9/23	12:46	25.0
007	9/23	12:47	24.5
008	9/23	12:48	25.5
009	9/23	12:58	26.9

注意: 文字の書体及び大きさは、実物と異なります。

● オート記録印字例 (記録インターバル2分の場合)

オトソケイター		プリント日時 2015年1月23日			
		センサー:K1, カリコト: No00-00(°C)			
Rec	月日	時分	上位	サイウ	サイイ
001	9/22	11:31	25.9	25.9	25.0
002	9/22	11:33	25.0	33.1	25.0
003	9/22	11:35	25.7	25.7	25.1
004	9/22	11:37	25.1	25.1	25.0
005	9/22	11:39	25.1	25.1	25.0
006	9/22	11:41	25.0	39.9	20.3
007	9/22	11:43	24.5	72.5	24.5
008	9/22	11:45	25.5	87.6	25.5
009	9/22	11:47	26.9	32.4	26.8

注意: 文字の書体及び大きさは、実物と異なります。

本器のエラー表示について

● エラー表示はメイン7セグメントLCD部に表示されます。

エラー表示	原因	対策
Er : Hi	測定温度が上限を超えている。	すみやかにプローブを測定対象から取り外し、測定範囲内に戻してください。
Er : Lo	測定温度が下限を超えている。	
----	測定温度が更に範囲を超えている。	プローブを正しく接続してください。
	プローブが接続されていない。	
	センサが断線している。	プローブの接続が悪いか内部での断線です。断線と考えられる場合は使用を中止してください。
	プローブ内部でショートしている。	使用を中止してください。

オプションセンサのご紹介

- センサには下記の種類のものが用意されています。使用目的に合わせてセンサをお選びください。その他特注センサについても製作いたします。

サーミスタ コード1.1m付(SK-S102Tを除く)

- SK-S100T 標準センサ
液体、粘性体、半固体用
-30 ~ 199.9℃ φ2×100mm
- SK-S101T 食品、ゴム質用
先トガリ、
液体、粘性体、半固体用
-30 ~ 199.9℃ φ3×100mm
- SK-S101WT 先トガリセンサ
(食品用防水型、低温)
-30 ~ 199.9℃ φ3×120mm
- SK-S102T 耐圧、水温測定用
コード10m付(醸造、水産)
-30 ~ 100℃ φ17×123mm
- SK-S103T 直腸温度測定用
30.0 ~ 50.0℃ φ3×110mm
- SK-S201T 空気測定用
(オフィス、倉庫)
-30 ~ 150.0℃
φ5×21mm+φ2×80mm(先端部)

熱電対(K) コード1.1mつき(SK-S105K、SK-S304Kを除く)

※クラス1表記以外のはクラス2です。

- SK-S100K 標準センサ
液体、粘性体、半固体用
-100 ~ 300℃ φ2.3×150mm
(クラス1)
- SK-S100WK 食品用防水型
センサ(低温)
-100 ~ 300℃ φ2.3×150mm
(クラス1)
- SK-S101K 一般測定用
液体、粘性体、半固体用
-100 ~ 700℃ φ3.2×250mm
(クラス1)
- SK-S102K 中・高温用センサ
粘性体、半固体用
0 ~ 800℃ φ4.8×500mm
(クラス1)
- SK-S103K アスファルト用先トガリ
(オールステンレス、耐熱コード付)
0 ~ 300℃ φ5×250mm
- SK-S104K 高感度測定用
液体、粘性体
-100 ~ 300℃ φ1×1000mm
- SK-S105K デープレックス
ワイヤーセンサステンシルド
コード0.3m付
-100 ~ 300℃ φ0.65×10m
- SK-S106K アスファルト用
(取手樹脂)先トガリ
0 ~ 300℃ φ5×250mm
- SK-S107K 高温用センサ
0 ~ 1000℃ φ4.8×1000mm
(クラス1)(材質:インコネル)

- SK-S108K 堆肥用
0 ~ 300℃ φ8×900mm
- SK-S109K アスファルト用
0 ~ 300℃ φ5×250mm
- SK-S110K 極細投込
先トガリ
0 ~ 200℃ φ2.0×85mm
- SK-S301K 静止表面用(中温)
0 ~ 600℃ 先端部φ25×40mm
- SK-S302K 静止表面用
(ロングサイズ・中温)
0 ~ 600℃ 先端部φ17×21mm
- SK-S303K 静止表面用L型
(中高温)
0 ~ 800℃ 先端部φ10×12mm
- SK-S304K 静止表面貼付用
0 ~ 300℃ 17×14×t0.6
耐熱コード3m付
- SK-S305K 静止表面用
(90°角度可変、中温)
-30 ~ 500℃ 先端部φ17×36mm
- SK-S306K 静止表面用(低温)
-30 ~ 250℃ 先端部φ10×12mm
- SK-S307K 静止表面用
(一般測定、低温)
-30 ~ 400℃ 先端部φ17×25mm
- SK-S308K 静止表面用
(L型センサ、中温)
-30 ~ 600℃ 先端部φ17×30mm
- SK-S401K 曲面表面用(パイプ等)
0 ~ 250℃ 先端部30×35×60mm
- SK-S402K 回転表面用(ローラ型)
0 ~ 300℃ 先端部25×50×25mm
- SK-S403K 静止表面用
(マグネット型)
0 ~ 200℃ 先端部φ30×12mm

その他のオプション

- SK-1250MC IIIシリーズ・SK-1260用ACアダプタMC-AD06150-1
DC6V 150mA以上
- 専用プリンタ(ACアダプタ付)

仕 様

製品名	防水型 デジタル 温度計	
型式	SK-1260	
製品番号	No. 8080 - 05 (センサツキ)	
測定範囲	サーミスタ	-30.0~199.9℃
	熱電対 (K)	-99.9~1250℃
分解能	サーミスタ	-30.0~199.9℃
	熱電対 (K)	-99.9~199.9℃ : 0.1℃ 200~1250℃ : 1℃
測定精度	サーミスタ ● 本体精度 ± 0.2℃ ● センサ精度 ±(0.1%rdg+0.2℃) / 0.0 ~ 150.0℃ ±(0.2% rdg + 0.4℃) / -30.0 ~ -0.1、150.1 ~ 199.9℃	
	熱電対 (K) ● 本体精度 ・ 0.0 ~ 199.9℃ · -99.9 ~ -0.1℃ · 200 ~ 1250℃ ± (0.1% rdg+0.3℃) ± 0.5℃ ±(0.2% rdg+1℃) ● SK-S100K センサ精度 (-100 ~ 300℃) クラス 1 (JIS) ± 1.5℃ / -40℃以上 375℃未満 ± 0.004 · t / 375℃以上 1000℃未満	
記録件数	マニュアル記録: 180件 オート記録: 120件	
接続可能センサ	サーミスタ、熱電対 (K)	
防水性*	JIS C 0920「保護等級IPX4」に準拠	
電源	単4形乾電池×4本・ACアダプタ (オプション)	
電池寿命	マンガン: 連続180時間 アルカリ: 連続280時間	
材質	本体	ABS樹脂
	標準センサ プローブ	感温部: ステンレス (SUS 316) 握手部: 耐熱ABS樹脂
外形寸法	H175×W66×D25mm	
本体質量	約0.2kg (電池含む)	
付属品	● 本体ソフトケース ● 標準センサ (SK-S100K) 1本 ● マンガン乾電池 (4本) ● 検査合格証 1枚 ● 取扱説明書 1冊 ● お客様製品登録のお願い1枚	

※防水性とはセンサ接続時に依るものです。

仕 様

製品名	防水型 デジタル 温度計	
型式	SK-1260	
製品番号	No. 8080 - 00 (センサナシ)	
測定範囲	←	
	←	
分解能	←	
	←	
測定精度	←	
	熱電対 (K) ● 本体精度 ← ● センサ精度 ※センサ精度は接続するオプションセンサの型番で異なります。	
記録件数	←	
接続可能センサ	←	
防水性*	←	
電源	←	
電池寿命	←	
材質	本体	←
	標準センサ プローブ	←
外形寸法	←	
本体質量	←	
付属品	● 本体ソフトケース ● マンガン乾電池 (4本) ● 検査合格証 1枚 ● 取扱説明書 1冊 ● お客様製品登録のお願い1枚	

※防水性とはセンサ接続時に依るものです。

保証規定

- 1) 取扱説明書の注意にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買いあげ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
 - 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買いあげ店または弊社サービスネットワークにご持参またはご送付ください。
 - 3) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - イ. 誤用、乱用および取扱不注意による故障
 - ロ. 火災・地震・水害等の災害による故障
 - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - 二. 使用中に生じた傷等の外観上の変化
 - ホ. 消耗品および付属品の交換
 - へ. 本証の提示がない場合および必要事項(お買いあげ日、販売店名等)の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また、本証は再発行いたしません。

品質保証書

本保証書はアフターサービスの際に必要となります。お手数でも※印箇所にご記入のうえ本器の最終ご使用者のお手許に保管してください。

品名 防水型デジタル温度計 型式 SK-1260

※お客様名

※ご住所 ※TEL ()

*以下につきましては、必ず販売店にてご記入捺印ください。

お買いあげ店名 (印)

ご住所 TEL ()

お買いあげ年月日 年 月 日

SK 巖佐藤計量器製作所

〒101-0037
東京都千代田区神田西福田町3番地
☎03-3254-8111 FAX 03-3254-8123

サービスネットワーク

本社営業部	東京都千代田区神田西福田町3番地	〒101-0037
	TEL 03-3254-8110(代)	FAX 03-3254-8119
東京営業所	東京都板橋区南常盤台2-9-18	〒174-0072
	TEL 03-3958-2351(代)	FAX 03-3957-5986
大阪支社	大阪市中央区内平野町2-1-10	〒540-0037
	TEL 06-6944-0921(代)	FAX 06-6944-0926
仙台営業所	宮城県柴田郡村田町西ヶ丘25-1	〒989-1304
	TEL 0224-83-4781(代)	FAX 0224-83-4770
名古屋営業所	名古屋市中区大須1-3-6	〒460-0011
	TEL 052-204-1234(代)	FAX 052-204-1123
富山営業所	富山県富山市二口町5-2-3	〒939-8211
	TEL 076-494-3088(代)	FAX 076-494-3090
福岡営業所	福岡市博多区博多駅前4-18-26	〒812-0011
	博多エイトビル4F	
	TEL 092-451-1685(代)	FAX 092-451-1688

URL : <http://www.sksato.co.jp/>

- 万一製造上の不備がありました場合は新しい商品とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦願います。

